

3 S 活動

その1

労働安全衛生コンサルタント 金森 英 二



私は、主に中小企業と顧問契約を結び、安全衛生に関する指導・助言をしている労働安全衛生コンサルタントです。大手企業では自社で行う安全衛生活動も、50名未満の企業では生産に追われ、十分な活動ができない場合が多くあります。安全衛生の基本といわれている3S「整理・整頓・清掃」についても不十分であることが多いです。

そこで本誌では3回に分けて、現在指導している事業所の中で「3S活動」に取り組んだ事例をご紹介します。

この事業所は、従業員数約20名の精密旋盤加工を得意とする機械加工メーカーで、ある鉄工会で行われた相互安全衛生パトロールに参加した縁で知り合いました。この事業所では労働災害が多く発生していたわけはありませんが、

執筆者紹介 金森英二（かなもり えいじ） 金森労働安全衛生コンサルタント事務所所長。労働安全衛生コンサルタントとして一般顧問先事業所を中心に安全衛生に関する指導・教育を実施。第一種作業環境測定士、衛生工学衛生管理者他資格多数。名北労働基準協会労働安全衛生教育関係講師。

事業所内の安全衛生活動をどう進めたらよいかわからず悩んでいたため、相談を受け、顧問契約に至りました。顧問契約後は、月1回工場内を巡視することとし、3Sを中心に写真撮影を行い報告書を提出、新たに設置した安全衛生連絡会で指摘事項を議題に挙げ、全員で改善するように指導しました。数カ月後には、指摘写真を元に安全衛生（3S）教育を行い、更なる改善を求めました。

しかし、管理者が問題点の原因を調べず、見た目の対応を図ったため、従業員の参加がなく、同じ指摘が繰り返されるようになりまし。そこで社長と相談した結果、班長クラス3名を実行委員に指名し「3S活動スケジュール」を作成するよう資料を渡しました。

実行委員より提出された計画の内容は、

- ① 整理整頓の進め方勉強会の開催
- ② 各自、身の回りで使用していない物にテープを貼る
- ③ 貼られた物の確認・判定
- ④ 不要品の排出、処分
- ⑤ 整頓の実施（下記スケジュール表参照）

【3S活動 スケジュール】株式会社〇〇〇〇

	1月					2月																								
	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①整理の進め方の説明	▶																													
②テープ・ふせん貼り	▶																													
③テープ・ふせん確認																														
④不要品の判定																														
⑤不要品の搬出・処分																														
⑥整頓の実施																														
⑦整頓の相互確認																														

基本姿勢：全員参加

実施日・・・2月11日(土)午前
 実行委員・・・〇〇〇〇(営業事務所・2F・食堂・休憩室)
 〇〇〇〇(マシニングから奥)
 〇〇〇〇(マシニングより手前・2F)

《②テープ・ふせん貼り》
 ・各自、自分の持ち場、周辺をチェックし、日常的に使用していないものにテープ・ふせんを貼っていく。
 ・必要なものか、不要品か分からなくても、使っていない物には貼っていくこと。
 ・引き出し、棚の中もチェックすること。

《③テープ・ふせんの確認》
 ・各自、工場内を一回りし、必要な物があれば、テープ・ふせんにその旨を記入する。

※次号から、いよいよこのスケジュールに沿って、「3S活動」がスタートします。従業員全員参加の「3S活動」はどのように展開していくのでしょうか。